

電 源 事 典

7 章

ノンストップ電源の未来と課題

7-4 ベストミックス電源の用途・市場規模予測

Nipron Co., Ltd.

7.4 ベストミックス電源の用途・市場規模予測

表 7.1 ベストミックス電源の用途・市場規模予測表

| 用途 | 用途説明 | DC24V | DC48V | DC 110/220V | DC280V | 総出力 容量 (kw) |
|--|---|--|---|---|-----------------------|---------------------------|
| | | サーバー・ パソコン (当社ノンス トップ電源 内蔵) 周辺端末機 | デジタル交 換機 光通信端末 局 携帯電話基 地局 各種無線機 | インバータ 照明 (ビル内照 明) 非常照明用 電源 | 各種回転機 用インバー タ電源 | |
| 企業オフィス コンピュータネットワークシステム | オフィスの照明電力を太陽電池エネルギー・風力発電エネルギーと深夜電力を用いて省エネルギー化を計り、設備償却を行う。 停電等の非常時は、コンピュータネットワーク及び全照明を部分照明に切替え非常照明電源を兼ねる。 | | | | | 3~10 必要に応じ 系統別に複数使用 |
| 工場 コンピュータ制御システム 工作機械 産業機器 | 自然エネルギーを優先し、動力電源に供給し省エネルギー化を計る。最近及び将来は、100%インバータ方式の電源となり、DC280V付近の電源が必要となる。 コンピュータネットワーク化も計られるため、無停電バックアップが必要となる。 | | | | | 5~50 |
| SOHO電源 スマートオフィス ホームオフィス | デジタル革命と共に、就業形態が変わり、ホームオフィス・サテライトオフィスなどで通勤のエネルギーロスを無くし、自由で創造的な仕事をする人が増えつつあり、オフィス全体のバックアップ及び省エネルギー化が必要。 | | | | | 3~10 |
| 通信施設用電源 携帯電話基地局 光通信端末局用 デジタル交換機 各種無線機用 | 通信施設は、長時間の無停電性が求められ、従来は整流器と呼ばれるものを用いている。 最近は、マルチメディア化、デジタル化と共に新設備が多く作られている。しかし時代の変化と共に機能UPと省エネ・省スペース要求が高まり、安全性も高まっている。 | | | | | 5~30 |
| 電力施設用電源 | 変電所設備、自動配電用等に長時間の無停電性が求められる。整流器及び電源供給機と呼ばれるもの。 | | | | | 3~10 |
| 金融システム | メインフレームコンピュータ、端末、CD、ATM及びネットワーク機器等のトータル無停電バックアップ。 | | | | | 3~50 |
| 防犯・防災 セキュリティシステム | 従来より、ビル等のセキュリティ機器には、それぞれ無停電バックアップ機能を持たせたものが多く、ベストミックス電源は、トータルでバックアップすると共に、非常電源を兼ねる。 | | | | | 3~10 |
| 高速道路へのEV用パワー供給 監視・非常システム及び発券システム | 高速自動走行する電気自動車への無接触電力供給。 太陽光発電及び風力発電等の自然エネルギーの最大利用。 | | | | | 20~100 |